

くるくるつうしん

第24号

平成22年 1月31日発行

特定非営利活動法人 くるくる

〒448-0843 刈谷市新栄町7-73 フラワービル

Mail: kurukuru@arion.ocn.ne.jp

URL: http://kuru2.sakura.ne.jp

TEL: 0566-28-7496

FAX: 0566-70-7296

本部は6階に移動しました

法人本部 6階

就労支援センター 3階

くるくるクリーニング 営業日時 月～金曜日 9:00～18:00

刈谷市新富町1-805 TEL&FAX 0566-25-2852

生活支援センターくるっと 刈谷市新富町5-612 TEL: 0566-70-9610 FAX: 70-9612

くるくるホーム 刈谷市日高町2-417 TEL&FAX 0566-87-7341

くるくる7年目に突入!

スタッフ3、4人で始めたくるくるも非常勤もあわせると今や30人を超える大所帯になりました。提供するサービスも年々増え、利用者さんも延べ200人近くになります。ヒトだけでなく、モノも増え、なぜかカネはいつもなく、それでも「あ、くるくるね」と地域のお知り合いは広まっていることを実感することが多くなりました。「障害があっても地域で暮らす」ためのシステム作りはまだまだ続きゴールはありませんが、少しずつでも着実に地域に根差していきたいと思えます。これからもご理解・ご協力お願いいたします。



ついにスタート!くるくるホーム

2009年11月29日開所式

たくさんの方がきてくださいました!(3ページにも関連記事が!)



今年もよろしくお願ひ致します。

昨年末はケアホームの立ち上げや、雇用に向けた具体的な動きがあり、怒涛の様に過ぎていきました。親御さん、支援者共々目まぐるしい変化についていくのが精いっぱい、というところが本音であったのではないのでしょうか?

そんな中、ご本人達の存在は着実に地域の中に根差してきています。新しい住居や就職先が決まり、新しい環境の中でもこれまで培った経験を活かしながら自分達の想いを発信していく。そんな当たり前のことが様々な要因により難しかったのであれば、この仕事に携わってきた自分達の責任でもあります。そういう意味では、今ようやくスタート地点にたどり着いたということなのでしょう。ここからが真の意味での「地域生活」ですね。親御さんもスタッフも新しい『お知り合い』を作ったり、行きつけのお店を見つけたりと『自分だけの秘密』を見つけるなんて楽しいこともしてほしいですね。これからが大変ですが、楽しみでもあります。

(鈴木)

* ホームヘルプ *

早いもので年が明けて一ヶ月が過ぎました。昨年は秋から冬にかけてインフルエンザが猛威をふるい、利用者さんだけでなくスタッフも健康管理に四苦八苦でした。インフルエンザの猛威はかなり和らいだもののこの仕事はサービスを受ける側も提供する側も健康が第一なのだ改めて実感させられました。スタッフ一同、健康第一で今年も頑張らせて頂きます。

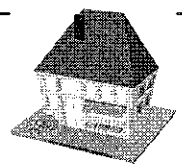
もうひとつ年をまたいで変化を見せているのが登録ヘルパーの増加です。ホームヘルプというのはヘルパー資格がないと勤務できない業種ですので誰でもできるわけではありません。また利用の申し込みが集中するのはご本人の学校やお仕事が終業する平日の夕方以降や、土日・祝日だったり主婦の方や学生さんにとっては働きにくい時間帯だとも言えます。そのような中でくるくるの想いに共感して働いてくださる登録ヘルパーには感謝するばかりです。しかしこの地域の現状を考えると今よりもっとそういった方が増えていくことがご本人やそのご家族を地域で支える足がかりとなります。登録ヘルパーの増加や登録ヘルパーが長く続けられる環境というのは必ずしも事業所だけで整えていくものではありません。どうしたら想いを持ったヘルパーがこの地域に増え、やりがいを持って続けられるのか、事業所・当事者・行政などでそれぞれの役割を果たしてこの地域の環境が今よりも良くなっていくことを考えていきたいものです。

(前島)

	利用者数	居宅介護	移動支援	行動援護	総利用時間
10月	54人	63.5時間	325.5時間	77時間	466時間
11月	63人	68時間	298.5時間	70時間	436.5時間
12月	67人	65時間	283.5時間	68時間	416.5時間

* レスパイト * ~これからの宿泊体験は?~

レスパイトでは宿泊体験を行っていたのですがケアホームの準備が本格化した1年前ほどより中止していました。ケアホームのスタートに伴い、今後のレスパイト事業の大きなテーマとなるのが「宿泊体験の再開」についてです。



今回ホームに入居された方もいきなり今の生活ができるようになったのではなく、3年近く宿泊体験を繰り返し行ってきました。地域での「自立した生活をしたい。」というご本人とご家族の明確な意思が絶対条件であるのも言うまでもないことですが、【宿泊体験＝自立に向けての意識付けや練習】がなければ、いくらホームとなる物件が見つかっていってもいくら支援体制が整ってもうまくいきません。

ただ「自立」や「ホーム」の話をどれだけしてもご本人やご家族がイメージをもつのは難しいでしょう。そのための宿泊体験です。ホームが落ち着くであろう来年度をめどに、次にホームを目指す方のニーズに合わせた宿泊体験を再開する予定です。今後は実際に1軒目のホームをスタートさせたノウハウをもとに、より将来の自立につながる体制を整えて皆さまに提案できればと考えています。また説明会等の場を設けて皆さまにもお伝えしようと思えます。自立した生活を送るためのひとつ、グループホーム・ケアホームについてぜひ一緒に考えていきましょう。

(前島)

* くるくるホーム * ~ついにスタートです!! ~

昨年12月1日より刈谷市で“初”となるケアホーム『くるくるホーム』がスタートしました。

ケアホーム開所までに長い期間をかけて準備をし打合せを繰り返して、さまざまな方に助けられながらのスタートだと思いと感慨も一層です。

しかし、ケアホーム開所がゴールではなく、ここからが地域生活の始まりです。

実際に日常生活の中でいろんな問題や課題ができています。今回入居された4名の方がそれぞれ生活リズムを作られるまでは生活しやすい環境を整え、スタッフ一同でバックアップしていかななくてはならないでしょう。一方で、夕食作りや宿泊に来てくれるサポーター、通勤途中で出会う地域の人々など、既に今まで関わりの無かった人々との新しいつながりができてきています。スタッフだけでなく地域の方とのつながりを育てながら、『たとえ障害があっても住み慣れた地域で安心して暮らせる』という具体的なモデルケースとして、今後地域に発信していける存在を目指していきたいと思います。そして、ご家族のご協力を得ながら、ご本人が努力して「自分らしい人生を歩んでいける」よう成長して欲しい、そのための支援を考えていきたいと思っています。

(前島)

親御さんも

準備に奔走されました



ご本人たちの
新しい生活への決意

開所式より



支えてくださる人々

くるくるホームの様子がケーブルテレビキャッチでも度々とりあげられています。「クローズアップ碧海」(2月に放映予定)、「地元がパラダイス」(放映済み)など、入居者皆さんのホームや日中活動の様子を垣間見ることができます。

* 児童デイサービス *



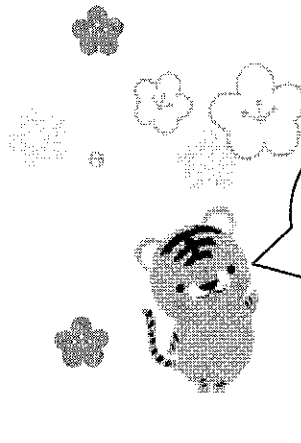
新年明けましておめでとうございます。m()m

今年は年明けから大雪や寒波など天候不良もありましたが、それにも負けず元気いっぱいにごせ
る地域の児童デイサービスとして活動していきますので今後ともよろしく願いいたします！！

今回は児童デイサービスの中の「課題」についてご紹介させていただきました。平日や土曜・祝日の
外出時などに「買い物」の練習をしています。その「買い物練習」について今回は概要を、次回は支
援内容・手順をご紹介したいと思います。（*^^）
（石川）

● 平日スケジュール ●

- 15:50 はじまりの会
- 16:00 課題（作業やプリント）
- 16:00 買い物練習
- 16:50 おやつ
好きな遊び
- 17:30 掃除・片付け
- 17:50 帰りの会



地域生活の中で、買い物を
する場面は必ずあります♪
誰でも経験する買い物を、
日々練習しています！！

● 買い物練習 ●

ご本人が将来少しでも自分の力で買い物に取り組めるように設定し、練習しています。目的は、社会の
ルール（お金を払うこと）を理解していくこと。欲しい物があってもお金がなければ買えません。そし
てお金は硬貨の種類によって価値が違います。「何で買えないのかな？」という硬貨の価値理解を深める
方もみえますし、レジのお姉さんとコミュニケーションを取って買い物することを練習する方もみえま
す。また、買い物をする手順を覚えていく方もみえます。限られた時間の外出で、お菓子を買に行く
…という場面ですが、ご本人達にとって学んでほしいこと、経験を積んで欲しいことが沢山ある取り組
みになっています。



実はこの「買い物練習」、前回詳しく説明させて頂いた「課題」を取り
組んだ方のみ買い物に行きます！というルールになっています。

お金は無限にあるものではありません。社会人になると自分で働いて
稼ぐところから始まります。頑張って課題に取り組んだ後に好きなお菓子が
買える、課題をしたことの評価で買い物ができるんだよ、ということを経
験してもらっています。

などなど、実はとても奥の深い買い物練習だったりするのです！

活動に見えるご本人達は常に成長していくので、支援の内容は日々検討が必要で四苦八苦していますが
今年も、ワイワイ明るく楽しい現場を目指していきます！

もし興味を持って頂いた方は、是非くるとへ見に来てください。♪♪

大歓迎です！お待ちしております。（●^_^●）/～

* 就労支援事業 *

就労移行支援では昨年の7月に初の就職内定者が出たのを筆頭に、現在では5名の方の就職が決まりました。それぞれ職種は違いますが、責任感、使命感を持たれて毎日休まずに通われています。また、就職が決まれば基本的に就労移行には通われなくなるため、新たに就職希望の方を受け入れています。昨年8月より、刈谷病院のデイケアに通われている方の中で就職を希望する方を受け入れを始めました。就労移行支援事業そのものが、「本格的に就職活動をする方の、トレーニングの場所」という意味合いが一層色濃くなってきたといえます。

就労移行支援事業が始まってからの1年半で、ご本人、親御さん、そしてスタッフの、“就職”というものに対する考え方も大きく変わってきたと思います。私自身、就労移行のスタッフとしてご本人たちに対し「就職するためにくるくるに通っているんだよ」「いつかはくるくるは卒業するんだよ」ということを言い続けていく一方で、昨今の経済状況やなかなかご本人に合う職種が見つからない焦りから、「本当に彼らにとって、就職は必要なのだろうか?」「無理をさせているんじゃないか?」ということを考え、悩んだ時期も正直ありました。ただそんな時期に、ある企業の方から「就職するということは楽しいことなんだ、その楽しさを知らない方たちに、もっと知ってもらいたい。そのために、もっと障害者雇用を進めていきたいと思っている。」と言われ、目の前の霧が晴れていくようでした。

就職をするということは、“相手”があつてのことであり、このように厳しい社会情勢の中でも前向きに考えてくださっている企業の方々がおられる事は、私たちにとってはとても励みになることでした。実際に、初めての就職者を出したときのスタッフ一同の喜びは、言葉には言い表せないほどのものだったと思います。

もちろん、就職したら楽しい事ばかりではないことは、皆さん周知のことと思います。そこからがスタートで、今まで体験されたことの無い苦労をされることもあるかもしれません。ただ、それも含めて、社会人として経験していただきたいと思うのです。それが「障害があっても地域で暮らしていく」ということにつながるのではないかと思うからです。

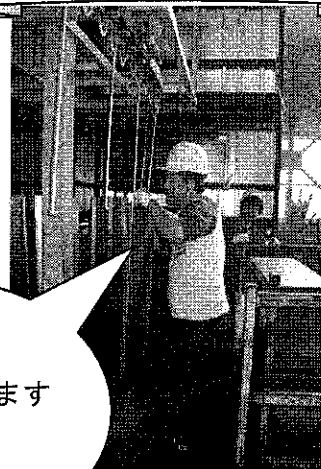
就職が決まった方の定着支援のサポートもさせていただいております。職場訪問や従業員の方からの聞き取りなど、今後の就労支援の重要な業務のひとつになっていくと思っています。 (渡邊)



ひとつひとつ
丁寧な作業で
がんばります!!

フラワービル 3F
くるくる 就労支援センターにて

就職先の (有) 平下加工にて



毎日
がんばってます
よお~!!

* 生活介護事業 *

くるくるでは『障害があっても地域の中で生活していく』ことを目標に支援を行っています。その中でも重度の知的障害がある生活介護のメンバーが社会の中で生活していくにはどうしたらよいかを常に考えているところです。いくつかの活動を通して地域の方と時間を共有するようになりました。もっとも地域の方に彼らの生活や活動を知っていただけたらと思います。(谷口)

◆ クリーンサポート ◆

月・水・金の週3日、地域の遊歩道と公園のゴミ拾い、地域の小学校周りの掃き掃除を行っています。それに加え夏は草取り、秋はくま手で落ち葉掃き。時には1~2時間の活動でゴミ袋が5~6袋になることもあります。障害の程度によって作業内容は異なりますが、毎日2キロくらいの道をスタッフと共に歩きながら清掃活動をしています。



毎回ゴミ袋いっぱいです。☆



金ばさみマスター☆

たばこのポイ捨てが気になります☆



◆ アルミ缶・牛乳パック ◆



責任



刈谷市内にあるスーパーなどに回収ボックスを設置し、毎日回収に行っています。拠点であるくるっとにて分別し、業者に収納するまでの仕事です。個々に自分の役割として責任を持って働いています。



回収

仲間

収納



責任 分別

ゴミの分別に御協力下さい。

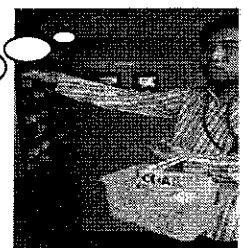
◆ ポスティング ◆

三河地区最大の発行部数を誇るタウン情報誌の配布。刈谷市内のマンション・アパートなど集積ポストにポスティングをしています。急に大声をだしたり跳び跳ねたりと障害ゆえの特性がある生活介護のメンバーに、始めは御近所の方々も戸惑われていたようですが、『どンドン社会に出て行こう!!』というスタンスのもと、『にこやかに大きな声で挨拶を!!』をモットーに活動してきました。活動を始めて2~3ヶ月を過ぎた頃になると、顔なじみの御近所さんも増え、『ご苦労様』『ありがとう』とねぎらいの言葉をかけていただいたり、果物の差し入れをいただくようになり、活動の励みになっています。周囲の障害に対しての意識が変わっていくことが一番の喜びです。

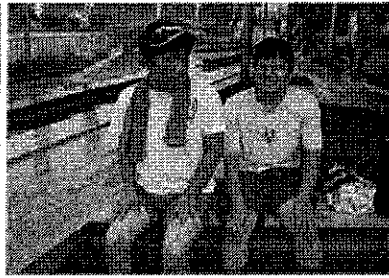
(片岡)



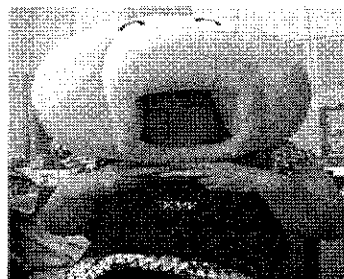
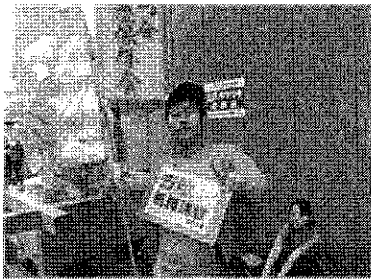
家族のみんなで読んで欲しいなあ。



◆ 余暇活動・社会経験 ◆



well being ~今日より明日~



最近ではボランティアによるサークル参加や地域のTVの放送や学校のおたよりなどでも紹介され、地域の方に私達の活動を少しずつ知っていただく機会が増えました。幸い、私達の生活している地域では企業ぐるみでの清掃活動イベントや町内会の活動も盛んで、こういった活動にもどんどん参加していきたいと思います。また、今まで『してもらう』ことが中心だった彼らの生活が、社会に出て行き、社会に貢献する生活へと変わりつつあります。もっと彼らが社会に出ていく機会や社会活動に参加できる機会が増えていくよう、地域の方々に私達の活動を知っていただけるよう支援していきたいと思っています。(谷口)

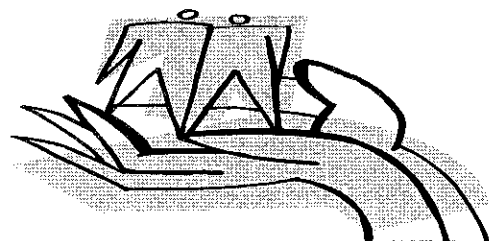
~ 学齢期のお子さんの将来について ~

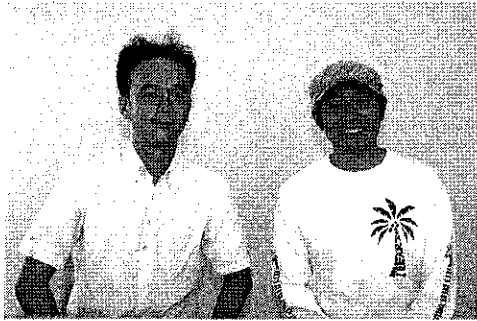
今現在が大変なためにお子さんの将来のことが見えにくくなっていませんか。くるくるとしては障害があるが故の子育ての難しさや大変さを共有しつつ、将来のために今何ができるかを一緒に考えていけたらと思っています。皆様、お忙しいとは思いますが是非この機会にお子さんの将来について考えてみませんか？

日程 : 2月25日(木) 10:30 ~ 12:00

場所 : 刈谷市民ボランティア活動支援センター(刈谷警察署裏)

内容 : 『この地域の現状について』





昨年取材に訪れた布川敏和さんと

『報道ニッポン』(報道通信社)2010年1月号に
くるくるの紹介が掲載されました。

記事はインターネットでもご覧になれます ↓

http://e-gyousyu.net/interview/1001/hn_kurukuru/

ありがとうございました

寄付*** 野々山瑞紀様 太田宗一郎様

祝電.....大村秀章様 NPO 法人パンドラの会様

アレンジメント.....下町様 近藤様 (古澤様ご友人)

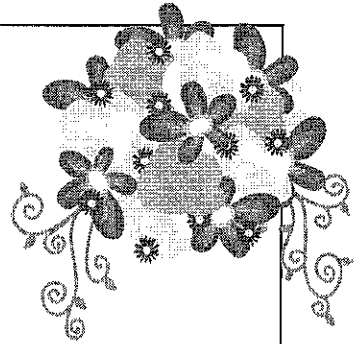
ポインセチア.....古澤様のご友人

グリーン.....社会福祉法人ひかりの家様

果物.....岩崎様 田中様 服部様 大西様

♪ ケアホーム開所にあたり頂きました。♪

岡本美鈴様 笹木夕莉様 ... ♪ お菓子 パズルを頂きました ♪



21年度会費*** 谷口光之様 鈴木峻平様 田中友章様 岩崎雄介様 岡本美鈴様 (計 8口)

賛助会員を募集しています

くるくるでは、法人の理念・活動に賛同し、
支援して下さる賛助会員を募集しています

・年会費 1口 3,000円

・会員特典 会報「くるくるつうしん」の送付、イベント等
の情報の配信

・申込み 新規の方は、ご氏名・ご住所・TEL・FAX・
所属先をお知らせ下さい。

・振込先 ●岡崎信用金庫 刈谷支店 3162778

特定非営利活動法人くるくる

代表理事 小野規正

●ゆうちょ銀行 00890-3-167757

特定非営利活動法人くるくる

●スタッフにお渡しくださっても結構です

退会の場合はお手数ですが
くるくるまでお知らせくだ
さい。

他の金融機関からの
ゆうちょ銀行への振込は
089店 当座 0167757

